

**ファイナルレポート**  
2020年9月8日～10日

## IFAT impact Business Summit:

### 世界中の環境に関する専門知識がデジタルで集結

2020年9月11日

- デジタルイベントに、世界各国から参加
- 主要トピックスは循環型社会、人工知能、潜在ニーズ
- IFAT 2022 への出展登録開始

2020年9月8日から10日まで開催された IFAT impact Business Summit は、初めて完全にデジタル形式で開催された、ビジネス開拓と知識移転のためのビジネスプラットフォームであり、リサイクルから水管理までの幅広い技術に焦点を当て、真の循環型社会への道のりに関するバーチャルでの1対1議論や討論が行われた。

「COVID-19(新型コロナウイルス)の世界的流行により、新たな視点でビジネスの方策を探ることを余儀なくされ、今回最初のデジタル開催となる IFAT impact Business Summit を実現させた」と、主催社メッセ・ミュンヘンの専務取締役シュテファン・ルンメルは説明した。3日間のデジタルイベントでは、世界各国の環境関連企業・団体間で、数多くの B2B ネットワーク作りや知識の移転が活発に行われた。「2021年には、再度デジタル形式によるイベントを提供したいと考えている。この流れを止めることなく、IFAT 2022 の開催準備は既に始めており、出展社のオンライン登録も開始した」と付け加えた。

#### デジタルでの相互作用

デジタルサミットは、3,000社を超える上場企業とその製品・ソリューションを有する IFAT 出展社ポータルを基に開催された。3日間の会期中に154もの製品が紹介され、1,400以上の1対1の商談が行われた。同時に開催された会議プログラムでは、20のセッションに70名の講演者を迎えた。その大部分は、IFAT のパートナーと、中国、インド、アフリカで開催している IFAT のスピンオフ見本市パートナーとの協力によって実現した。このデジタルサミットには104か国から約2,100人が参加した。

#### ヨーグルト容器、アフリカのニーズ、そして人工知能

注目のトピックスは、例えばソリューションツアーで取り上げた「ヨーグルト容器の新しいリサイ



Messe München

「プラスチック製品への再生」のような循環型社会を実現させる方法であった。サミットにおいて専門家は3つの方法を挙げた。(1)製品自体をより再生しやすくすること、(2)消費者のより適正な分別への意識を高めること、(3)EUの政策立案者が割り当てを設定して、より多くの再生材料を新しいプラスチック製品に取り込めるようにすること。SeSoTec社のMichale Perl氏は、「プラスチックは私たちの生活に不可欠なものだ。プラスチックをいかに活用するか、ということが重要な課題だ」と語った。

アフリカを含む国際市場への多くの洞察も、サミットで紹介された。African Water Association (AfWA)のSylvain Usher氏は、「アフリカは決して水不足ではない。問題は、多くの技術的問題や違法な排出によって、消費者に水が届かないことだ。水の損失との闘いは、アフリカにおける水管理の中心的な懸念の一つである」と述べた。

また、環境産業における人工知能に関する講演も興味深いものであった。ドイツにおける人工知能の主要イニシアチブであるappliedAIのディレクター、Dr. Philipp Gerbert氏は、「環境保全技術における人工知能の活用は、気候変動と循環型社会の管理に最も直接的で最も強い影響を与える」と話した。しかしながら、まずはデータセンターの電力消費によって生み出される人工知能自体の二酸化炭素による環境負荷を除去することが必要だ。フラウンホーファー研究機構の理事であるProf. Dr. Ralf Boris Wehrspohn氏は、飲料水のオンライン監視、より経済的で弾力性のある排水処理設備、都市の持続可能な水管理など、水産業においての多くの可能性を示した。

会議プログラムの詳細は、近日IFAT公式サイトで紹介する予定である。

次回のIFAT 2022は、2022年5月30日から6月2日まで開催予定であり、出展申し込みの受付は既に開始している。

申込サイト: <https://www.ifat.de/en/exhibitors/application/exhibitor-application/>

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)